

令和8年度 別府教育事務所 重点方針



「授業改善×主体性」で目指す授業

～対話と振り返りで深まる学び～

授業改善

【学びの質を高める授業づくり】

- 新大分スタンダードの浸透と深化
- 個の実態に応じた具体的な手立ての工夫
- 考えを表現し、伝え合う活動の充実
- ☆ 事実解釈型の校内研修の推進

【主体性を引き出す学びの場づくり】

- 問いをもって学びに向かう姿勢
- 自己選択・自己決定を通した学びの経験
- 振り返りを通して学びを調整する力
- ☆ 非認知能力の変容の見取り(ScTN質問紙)

主体性

課題解決を支援する「重点キーワード」

対話

「正解」から「納得解」へ

- ・ 目的意識を高めるペア・グループ学習
- ・ 多様な考えを可視化するアウトプット
- ・ 思考を深め、納得解を導く意見交換

フラスワン

既存の授業・活動にひと工夫

- ・ 子どもに学びを委ねる「+1」
- ・ 姿を見取り、授業を書き換える「+1」
- ・ 実践知を共有し、次の一手を「+1」

振り返り

「感想」から「変容」へ

- ・ 自己の伸びを実感する振り返り
- ・ 他者との比較で変容を自覚する協議
- ・ 行事や日常生活に広げる振り返り

【授業改善と主体性を支える基盤としての学校マネジメント】

- 「見取り ⇒ 振り返り ⇒ 改善」のサイクルの徹底
- ☆ ミドルリーダーの主体的な関わり
- ・ 根拠をもとにした検証
- ・ 対話による「実践知」の共有
- ・ 次のプランへの反映

【すべての取組を支える基盤】 ☆ 心理的安全性の確保 ☆ ICTの効果的な活用

合い言葉：「みんながやる、みんながのびる、みんなが喜びを感じ合う」



別府教育事務所
ポータルサイト

<https://sites.google.com/oen.ed.jp/beo>

※ ☆は○の取組を進める助けとなるもの